第１３２回奈良国際文化観光都市建設審議会会議録

開催日時	令和８年１月２２日（木曜日）　９時３０分～１１時３０分			
開催場所	奈良市役所　中央棟地階　第Ｂ１会議室			
出席者	委　員	伊藤忠通委員　大窪健之委員　鍵田美智子委員　片岡博美委員 木下修平委員　倉橋みどり委員　清水裕子委員　清水陽子委員 下村由加里委員　巽一孝委員　辻中佳奈子委員　都築由美委員 橋本隆史委員（古林葉二氏代理出席）　本中眞委員 八尾俊宏委員　山本直子委員　山本直彦委員　山本善徳委員		
	事務局	真銅正宣副市長　下谷孝史都市整備部長 藤原健嗣都市整備部次長 徳岡健治都市整備部参事兼都市計画課長 三山和宏開発指導課長　丸谷和弘建築指導課長		
開催形態	公開（傍聴人一般０人 報道関係者０人）		担当課	都市整備部　都市計画課
議題等	（議案） １　大和都市計画（奈良国際文化観光都市建設計画） 駐車場整備地区の変更（廃止）（案）について（付議）			
決定又は取り纏め事項	（議案） １　議案は原案どおり可決された。			

議事の概要及び議題等に対する主な意見等

（議案）

１　大和都市計画（奈良国際文化観光都市建設計画）
駐車場整備地区の変更（廃止）（案）について（付議）

（事務局から、ＪＲ奈良駅周辺駐車場整備地区の変更（廃止）について説明を行い、審議された。）

⇒採決の結果、原案通り可決された。

大窪委員

・駐車場案内システムが現在稼働していないことについて、駐車場の利用が偏らないように駐車場案内システムに類するようなものを、市としてもＤＸ化を方針に掲げていることから、整備することが肝要だと思う。

（奈良中心市街地公共交通活性化協議会にて検討を行っている旨を回答。）

・送迎や荷捌きについて、インセンティブを利用して一定のものを認めているものと思うが、駐車場の位置が重要だと考える。駐車場を計画するなら、100m以内であれば算入してもいいという形もいいのではないか。100mも動線で100mと規定する、あるいは安全性を考えて警察の指導を受けて認めればいいのではないか。

（隔地駐車場の基準について、警察協議を行っているところで、道のりで 100m以内とする予定であること、道のりの安全性も開発要件ごとに異なってくるので、案件ごとに警察協議を行う旨を回答。） 鍵田委員 ・改正後、多様な開発計画に対応していくというまちづくり的な問題もあると思うが、ウォーカブルな開発にも対応していく目的があると考える。そこの観点はＪＲ奈良駅エリアに限定されたものなのか、今回示された場所のみならず、奈良市全体としてとらえているのか教えてほしい。 （ＪＲ奈良駅エリアに限らず、奈良市全体が対象である旨を回答。） 山本直彦委員 ・駐車場整備地区の変更については、この方針で進められていいのではないか。 ・開発指導要綱がかかる面積はどれくらいか。 （開発行為として 500 ㎡以上の区画形質変更があるものが該当する旨を回答。） ・ある程度大きい建物では、道路斜線で建物がセットバックして、前面駐車場や空地を取らなければならなくなり、そこに駐車場を荷捌き用に準備すればよい、ということに結果的になることはあるか。 （施設毎の敷地内に絶対用意しないといけないことはない。どこかの駐車場と共有するというやり方をしている自治体もある旨を回答。） ・500 ㎡だと小さい印象があるので、景観審議会の自分の立場だと、あまり小さい建物のセットバックは三条通りなど町並み的にやりたくないので、大きい建物で駐車場を造らざるを得ないときは、三条通りなどでは共有するなどを言ってもらえるとありがたいと思う。	
資　　料	・次第 ・座席表 ・委員名簿 ・【概要説明】駐車場整備地区の変更（廃止）について ・大和都市計画（奈良国際文化観光都市建設計画）駐車場整備地区に関する都市計画の変更案を作成するための公聴会の結果